

放射線安全フォーラム
第69回放射線防護研究会

「放射線被ばくに関する量を考える 一定義を知り、論点を抽出する」

開催趣旨

東日本大震災に伴う東電・福島第一原子力発電所の事故から10年、復旧復興に向けた各方面の取り組みが新たなステージに入っています。放射線安全・防護の観点でも、オンサイト、オフサイトの両方できわめて難しい局面を迎え、専門家のみならず、多くのステークホルダー間での議論が活発化してきています。また、放射線防護の世界で利用される「量」の定義を扱う国際組織のICRP(国際放射線防護委員会)／ICRU(国際放射線単位測定委員会)が実用量(測定に用いる量)の定義変更を2020年から2021年にかけて公知をしました。

このような社会背景に鑑み、第69回放射線防護研究会では、放射線被ばくに関する多様で複雑な「量」の体系について今一度整理し直すと共に、専門的な視点での最新の動向を共有し、放射線の被ばく量を扱う現場の視点も取り入れて、今後取り組むべき課題、論点を抽出することを目的として、「放射線被ばくに関する量を考える 一定義を知り、論点を抽出する」を企画しました。

講師としては、線量定義の解説を、東京大学の原子力専門職大学院で線量概念の講師を務める日本原子力研究開発機構の高橋史明博士、また、ICRU／ICRPが勧告する新しい実用量の解説を、同テーマに関するICRUの専門委員を務められた産業技術総合研究所の黒澤忠弘博士にお願いしました。また、現場視点での論点抽出に関して、大学施設と医療施設の観点で東京都立大学の井上一雅教授、商用原子力施設の観点で、電気事業連合会の西田一隆氏にご講演をいただくことになっています。

総合討論では、ご参加の皆様を交えて有意義な議論ができることを期待しています。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2021年6月19日(土) 13:30~17:00

場 所 : **WEB(オンライン)での開催とします。インターネットへの接続が必要です。**
快適に参加するために Download の速度は 20 Mbps 以上 をお勧めします。

2. プログラム

司 会 飯本 武志 放射線安全フォーラム理事 東京大学

講 演 1 高橋 史明 「目的に応じた線量の多様性とその定義」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力科学研究所
原子力基礎工学研究センターリーダー

講 演 2 黒澤 忠弘 「ICRU／ICRPが勧告する新しい実用量」

産業技術総合研究所 分析計測標準研究部門
放射線標準研究グループ長

現場からの声

① 大学・医療業界より 東京都立大学 教授 井上 一雅

② 電力業界より 電気事業連合会(放射線防護検討WG) 主査 西田 一隆

総合討論: ご登壇の先生方を交えて、討論します。

皆様の参加お待ちしております。

※WEB 開催になりますが、本研究会での録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参加費: (放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般: **2,000円**

6月11日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

＜振込先口座＞ 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

学 生: 無料(HP 申込時に、学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、

下一桁を除いた学生番号を記入してください)

4. 参加申込み: ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。定員は100名を予定しております。参加費は事前振り込みをお願いいたします。

参加される方は必ず受付フォームよりフルネームを記入の上、参加申込みをお願いいたします。

申込期日後 ZOOM 招待を申請(登録)されたメールアドレスに発信いたします。

受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期限: 2021年6月11日(金) 17:00

6. 問 合 せ: mail@rsf.or.jp